

	子宮がん検診（子宮頸部細胞診と経膈エコー）			乳がん検診（視触診と、乳腺エコーまたはマンモグラフィー）			
		受診料金	申し込み		検査方法	受診料金	申し込み
市町村の制度を利用	京都市在住(20歳以上)で今年の誕生日で偶数年齢になられる方	1000円	太子道診療所で受診可能です	京都市在住(30歳以上)で今年の誕生日で偶数年齢になられる方	乳腺エコー (30歳～40歳未満の方のみ)	1300円	各区の保健センター・支所で実施する巡回検診、または東山保健センターで実施する乳がん検診で受診してください。
					マンモグラフィー (40歳以上の方)	1300円	太子道診療所で受診可能です
	京都市在住でない方	各市町村にお問い合わせください。			京都市在住でない方	各市町村にお問い合わせください。	
健康保険の制度を利用	協会けんぽ (20歳～38歳の偶数年齢の女性)	1020円	太子道診療所で受診可能です	協会けんぽ (一般検診を受診する40歳～48歳の偶数年齢の女性)	マンモグラフィー2方向	1655円	太子道診療所で受診可能です
	協会けんぽ (一般健診を受診する36歳～74歳の偶数年齢の女性)	1020円		協会けんぽ (一般検診を受診する50歳～74歳の偶数年齢の女性)	マンモグラフィー1方向	1066円	
	その他の健康保険	各健康保険組合にお問い合わせください			その他の健康保険	各健康保険組合にお問い合わせください	
自費で受診の場合	すべての女性の方	5400円	太子道診療所で受診可能です	すべての女性の方	乳腺エコー	5400円	太子道診療所で受診可能です
				すべての女性の方	マンモグラフィー	1方向5400円 2方向6480円	

★乳がん検診・子宮がん検診実施日★ 毎週金曜日午前中(9～11受付)・火曜日午後(第1・3火曜のみ)(13:30～15:30受付)

●京都市の子宮がん検診・乳がん検診には免除制度があります。70歳以上の方、後期高齢者医療保険の方、福祉医療受給者証をお持ちの方などは無料で受診いただけます。(免除の場合は検診当日に必要な書類がありますので、ご準備をお願いいたします)

太子道診療所・健康サポートセンター / 直通TEL 822-8246

(※2018年4月より、一部料金改定あり)

# 婦人科検診のご案内

平成29年4月 健康サポートセンター



## 20歳すぎたら子宮がん検診を・・・

### 子宮がん検診

・・・一般的に子宮がん検診というと子宮頸がんの検診を指します。太子道診療所では、子宮頸部（子宮の入り口）の細胞診検査と超音波を使って膣から子宮や卵巣を観察する**経膣エコー**を行っています。近年、子宮頸がんは20～30代の若い女性に急速に増えています。**20代でがん検診！**?と思われる方も多いと思いますが、この世代のがんによる死亡の1位は子宮頸がんです。早期治療ができなかった場合、がんで命を失わないにしても妊娠・出産というかけがえのない可能性を奪ってしまうことさえあります。子宮頸がんは**ヒトパピローマウイルス（HPV）**の感染が原因であることもわかり予防ワクチンもあります。発がん性HPVに感染してから子宮頸がんになるまでには数年かかるといわれ、毎年の検診受診でがんに移行する前に対処することもできるようになりました。一方40歳～50歳以降の方は子宮体がんや卵巣がんも増えてきます。健康サポートセンターでは、経膣エコーも同時に行っていますので、子宮体部や卵巣の状態もみることができます。婦人科検診はお母さんと娘さん、お友達同士など一緒に毎年受診してください。

## マンモグラフィーと乳腺エコーは毎年交互に・・・

日本では、およそ16人に1人の割合で乳がんが発症し、40代後半の若い世代に発症のピークがあることが大きな特徴です。自己検診で発見できることもありますが、「しこり」として触れることのできない小さながんの多くはマンモグラフィーや乳腺エコーで発見することができます。小さなうちに発見し、適切な治療を行えば、90%以上が治る病気です。一年に一度は乳がん検診を受けられることをおすすめします。

### マンモグラフィー

**マンモグラフィー検査**（以下MMG）は乳房のレントゲン写真を撮る方法です。MMGは乳腺内の石灰化を発見するのに適しています。（乳がんは石灰化を伴うことが多くありますが、良性の石灰化も沢山あります）しかし30代から40代の乳腺組織がしっかりしている方は『しこり』の判断ができないことがあります。撮影時には乳房を機械で挟み込み引き伸ばすようにするため多少の痛みを感じます。



### 乳腺エコー

**乳房の超音波検査（乳腺エコー）**はMMGに比べ石灰化の検出は劣りますが、手で触れても判らないような小さな『しこり』を発見することができます。また検査時の痛みもなく被爆の心配もないため妊娠の可能性があっても受診できます。このように2つの検査には長所と短所があり、一方だけの乳がん検出率は80～90%です。2つの検査を組み合わせることにより、見落としの少ない検診になります。30代は乳腺エコーを、40代になったら乳腺エコーとマンモグラフィーを毎年交互に受けていただくのがよいでしょう。

## ご予約・お問合せ

太子道診療所健康サポートセンター

TEL・075-822-8246